



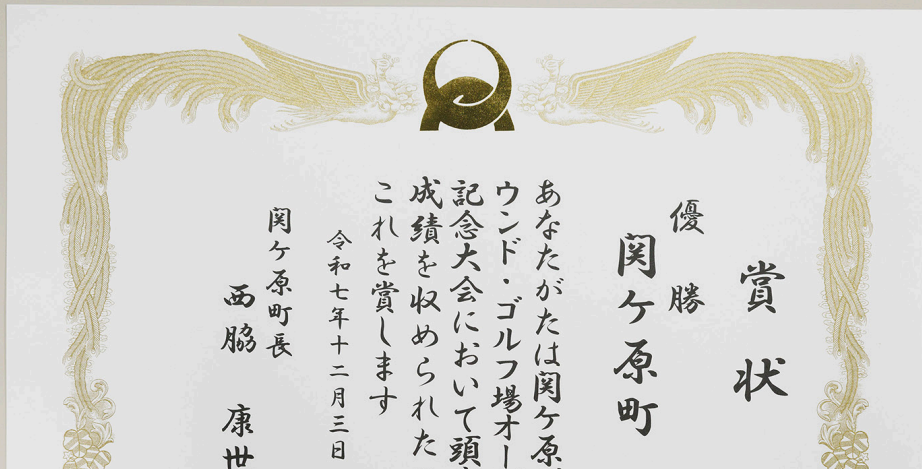
導入事例

業種特有の課題を解決！  
エプソンのスマートチャージ

EPSON

官公庁

関ヶ原町役場 様



エプソンのスマートチャージでまとめて一元管理  
印刷関連の消耗品・保守・経理管理が大幅に軽減

関ヶ原町は滋賀県との県境、伊吹山地と鈴鹿山脈に囲まれた高低差の多い地形にあり、日本海側気候で、若狭湾から伊吹山地を経て吹き込む季節風(伊吹おろし)により、冬は豪雪地帯としても知られている。

中山道・北国街道・伊勢街道が交わり、古くは京都を守る三関の一つ不破関が置かれ、宿場町であった近畿と東海を結ぶ交通の要衝で、現在も名神高速道路や東海道新幹線が通る交通便利性の良い環境。

人口は6,018人(2025年11月1日現在)。産業では、米・そば・野菜などの農業の他、壬申の乱や関ヶ原の戦いの古戦場がある地として知られ、2020年に開館した岐阜関ヶ原古戦場記念館や笹尾山の石田三成陣跡、関ヶ原合戦祭りなどが有名で、国内外から歴史ロマンを求める多くのファンや観光客を集めている。

■所在地：岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原 894-58

■ホームページ：<https://www.town.sekigahara.gifu.jp/>

■設置場所：町役場庁舎、国保関ヶ原診療所、中央公民館、関ヶ原ふれあいセンター、関ヶ原町歴史民俗学習館、東保育園・西保育園



関ヶ原町役場庁舎



大小ホールや図書館のある  
関ヶ原ふれあいセンター

Before

## 導入前の課題

課題 01 機種も契約も違う印刷機器が混在し管理できていなかった

課題 02 機種により違う消耗品や修理依頼の手配が負担

課題 03 カラー印刷の単価が高く、毎月の請求額も高額

After

## 導入効果／課題解決

解決 01 印刷環境調査で印刷機器の全体状況が見える化

印刷環境調査で、印刷機器のメーカー・機種・印刷枚数・経費を把握、最適な印刷環境と一元管理が可能な機器を選択できた

解決 02 消耗品や保守を含めて月額定額制で一元管理

複数の機種でも消耗品や修理の手配が容易、しかも費用は月額定額制で一元管理を実現

解決 03 コストを気にせず安心してカラー印刷できる

カラー/モノクロ共に規定枚数までコストを気にせず印刷可能さらにグループ割引で、契約する機器全体で印刷枚数を分け合える

さらに さまざまな用紙に印刷できるので、賞状や返礼品の御礼状なども印刷できる

導入の目的 印刷費のコスト削減と、印刷機器の一元管理を目指しました

導入プラン エプソンのスマートチャージ  
オール・イン・ワンプラン(グループ割引)

使用用途 行政文書、申請書、案内チラシ、掲示物、会議資料や議案書、報告書、伝票、宛名シール、賞状などの印刷やコピー、書類やメール添付資料のスキャンによるPDF化、ファクスなど

導入機器 LX-10050MF ステープルフィニッシャー・P2付×2台  
LM-C6000×7台  
PX-M8000FX 大容量給紙モデル ×4台



LX-10050MF  
ステープルフィニッシャー・P2付

LM-C6000

PX-M8000FX  
大容量給紙モデル

# 印刷環境調査で現状の印刷環境を見える化 その運用に見合った最適な製品・台数を配置することができた

課題  
01

導入前の課題

機種も契約も違う印刷機器が混在し管理できていなかった

使用する機種や台数、契約内容や契約時期もバラバラで  
全体状況を把握しておらず管理も大変だった

以前は総務課が契約・管理しているカラーレーザープリンターと、各部署や庁舎以外の施設が個々に契約・管理する複合機やプリンターが混在していました。

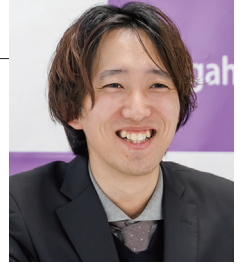
各部署や施設が調達した機器は、メーカーや機種、契約方式や導入時期がバラバラで、消耗品や修理依頼などの手配方法も異なり、総務課では全体を正確に把

握できていませんでした。

特に庁舎以外の施設では、職員も管理方法や契約内容を詳しく把握していなかったため、担当者異動時の引継ぎも不確かで、管理外にも関わらず総務課へ問い合わせや対応依頼があり困っていました。

関ヶ原町  
総務課

酒井 健多 様



※記載の各所属・役職は取材のあった  
2025年10月時点のものです。

解決  
01

導入の決め手

印刷環境調査で印刷機器の全体状況を見える化

月額定額制なら全体の請求額を抑えられると考え  
カラー印刷のコスト軽減を狙って検討を開始

そのような中で、取引している代理店から2025年6月初旬にエプソンのスマートチャージを紹介されました。

説明を受ける中で、まずコスト面に魅力を感じました。関ヶ原町では、以前からカラー印刷の量が多かったのですが、既存の複合機の契約だとカラー印刷の単価が高く、毎月の請求額も高額になっていました。

複合機やプリンターの前に、モノクロ何円カラー何円と1枚単価を掲示して、カラー印刷の抑制を呼びかけてはいましたが、年々請求額も上がり、悩みの種でした。

エプソンのスマートチャージなら、本体の初期費用はかからず、印刷コストも低価格で月額定額制なので、まとまれば全体の請求額も抑えられると考えました。

庁舎以外の施設の印刷量や消耗品費が不明で知りたかったこともあり、全体状況が把握できて、そのデータを基に導入する全ての印刷機器が一元管理できることに興味が湧き、すぐに印刷環境調査をお願いしました。

まずは無料の印刷環境調査を依頼  
そのデータを基に最適な導入プランの提案を受けた

印刷環境調査をお願いしてから約1週間で、現状の使用機器の設置場所・メーカー・機種・印刷枚数・契約状況や掛かっている経費などの報告を受けました。

報告では、カラー複合機11台、モノクロ複合機2台、カラープリンター6台、モノクロプリンター18台、孔版印刷機2台があることが分かり、同時にその印刷量をまかなえる性能のエプソンのカラーインクジェット複合機に入れ替えた場合の機種と台数、それらをエプソンのスマートチャージ オール・イン・ワンプラン・グループ割引で一括契約した場合の導入プランをご提案いただきました。

また、実際に提案された複合機を搭載したデモ

カーも派遣していただきました。庁舎の駐車場で終日、デモ印刷を実施。チャットで職員に呼び掛け、5部署の職員約10～15名が体験しました。

さらに7月には、LM-C6000を16日間貸出していただき庁舎の2Fに設置、庁舎の職員約30～40名や施設の職員で使用して、使いやすさなどを確認しました。

試用前は上層部を含め、印刷物のインクの湿り気や紙のたわみが心配でしたが、デモでその不安は解消。インクジェットに持っていたネガティブなイメージが払拭されて短期間で導入が進むきっかけになりました。



庁舎2F設置のLX-10050MF  
ステープルフィニッシャー・P2付  
高速印刷でステープル綴じができて、設置も省スペース



庁舎2F設置のLM-C6000、コンパクト・省スペース  
で印刷・コピー・スキャナー・ファクスと多用途  
に活用



窓口に配置された各種申請書の印刷にも活用、役場内の書類のほとんどをエプソンの複合機で印刷している

導入の効果



印刷環境調査で現状を見える化  
運用に合った最適なプランをご提案



消耗品や保守を含んだ  
月額定額制で一括管理



紙詰まりなどが少なく  
トラブル対応の手間が軽減



コストを気にせず  
安心してカラー印刷ができる

# エプソンのスマートチャージ オール・イン・ワンプランなら 月額定額制で消耗品や保守も含めて一括管理、予算管理しやすい

## 課題 導入前の課題

### 02 機種により違う消耗品や修理依頼の手配が負担

## 長く使用している機器は紙詰まりや故障も多く 消耗品や修理費用の管理や経理処理も大変だった

長く使用している機器は紙詰まりや故障などのトラブルが多く、部品交換や修理費用がかさんでいました。

さらに印刷ミスにより無駄になった用紙代も見過ごせない状況になっていました。トナーなど消耗品については、総務課のある2Fはトナーがなくなる前に発注できていましたが、他の階ではトナーが切れてから発注することが多く、新しいトナーが届くまで別の部署の機器を使うなど業務に支障が出ることもありました。

また、印刷機器メーカーごとの消耗品や修理費用の請求伝票処理も面倒でした。

特に年度末は印刷費用の振り分け作業にもかなりの手間がかかっていました。

印刷関係の予算は、前年度の予算に実際の印刷代を加味して計上していましたが、それでも年度末には予算が不足して、カラー印刷を控えるよう呼び掛けをすることもありました。



町民に配布するさまざまなお知らせの広報資料に活用  
気兼ねなくカラー印刷できるので、見やすく分かりやすい

## 解決 導入の決め手

### 02 消耗品や保守を含めて月額定額制で一元管理

## 印刷機器の台数が集約でき、消耗品や保守も含めた一元管理で、予算管理がしやすくなりコストも削減

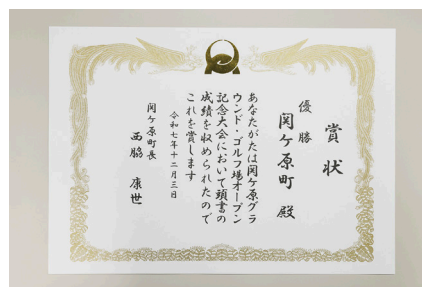
デモやモニター結果も好評だったため、代理店の提案から約3ヶ月後の9月には導入することができました。エプソンのスマートチャージについては、従来の契約とは異なるため、上層部への説明には苦労しました。

また、保育園などは以前のリース契約が残っていたため、契約期間の調整が大変でしたが、提案資料を元に、一元管理ができて全体費用も抑えられる点を強くアピールして了承を得ました。庁舎には大量印刷時を考えたLX-10050MFステープルフィニッシャー・P2付2台とLM-C6000を4台、国保関ヶ原診療所と中央公民館にはLM-C6000各1台、その他の施設にはPX-M8000FX大容量給紙モデル各1台を導入。用途別で分けていたプリンター類が減らせ

て、台数も集約することができました。

エプソンのスマートチャージなら、月額定額制なので、実数換算による支出負担がなくなり、枚数を超過しなければ最初の予算通りで済むので、以前より予算が組みやすくなりました。また、各部署毎に余裕をみて上乗せしていた分の予算が削れるので、複合機に関しては次年度から8~9割程度で一括計上できそうです。

現在、多くの複合機は入れ替えと同時に撤去しており、契約が残っている印刷機器についても、次回契約更新時には、エプソンのスマートチャージに統合して、全ての印刷機器を一元管理したいと考えています。



町主催のイベントで進呈する賞状の印刷に活用、インクジェット方式なので多様な厚さや種類の用紙に印刷できる



産業建設課では報告書の印刷に活用、地図や図面の細かい線も正確に再現でき、ハッキリして見やすくなった

## 紙詰まりなどが少なくトラブル対応の業務負担も軽減 さまざまな用紙にも印刷できるため活用用途が幅広い

導入してから紙詰まりなどのトラブルが全くなく驚いています。トラブル対応などの業務負担も軽減されてとても助かっています。

産業建設課では、工事現場の写真や検査の写真、細かい図面などが見やすいと好評です。他の課でも、委託業務の写真入り報告書などでよく使用しています。

また、さまざまな用紙に印刷できるので、賞状や高級紙を使ったふるさと納税の返礼品の御礼状なども印刷しています。以前はレーザープリンターで印刷していた印刷ミスも多く、用紙を無駄にすることも多かったのですが、今はとても綺麗に印刷できています。

スキャナーは、郵送物をPDFにしてメール添付して送る際などによく使用しています。スキャンしたデータはネットワーク上の共有フォルダに一時保存。そこから各職員のPCに移動して保管・活用しています。複数ページの資料のスキャンなどにはADF(オートドキュメントフィーダー)機能も良く使用しています。

また、エプソンの複合機は低電力で非常電源やモバイルバッテリーでも稼働すると聞いているので、災害時の避難所の活動にも役立てられると思っています。



町主催のイベントの案内チラシや掲示物に活用、カラー写真・地図・二次元コードなどもハッキリと再現できる

本媒体上の他者商標の帰属先は、エプソンのホームページをご確認ください。

### Before

印刷機器毎にメーカーや機種、台数、契約内容や契約時期もバラバラで、消耗品や修理、経理の管理にも手間や時間がかかっていた



### After

消耗品や保守を含み月額定額制で設置した全ての製品を一括管理印刷枚数も分け合せて、経理や予算管理の手間も軽減



# モノクロ / カラーも含めた月額定額制で コストを気にせず安心して自由にカラー印刷ができる

課題  
03

導入前の課題

カラー印刷の単価が高く毎月の請求額も高額

カラー印刷で大量に印刷する際は、**少しでも単価の低い別の機器を使用するために庁舎まで移動していた**

関ヶ原ふれあいセンターには、大小ホールや図書館、ギャラリー、創作室・視聴覚室・会議室、屋外には広場や野外ステージなどがあり、市民向けのイベントもよく開催されており、その案内チラシや掲示物も事務室で多く印刷します。

そのために以前からカラーレーザー複合機とモノクロ印刷の孔版印刷機が設置されていましたが、以

前はカラー印刷するのに常にとめらえがありました。以前設置していたカラーレーザー複合機は、カウンターチャージ契約でカラー印刷の単価が高く、何も気にせずに使うと請求額も高額になってしまったため、カラー印刷で大量印刷する際は金額に配慮して、少しでも単価の低い機器を使おうと、わざわざ隣の庁舎まで印刷しに行ったりしていました。

関ヶ原町教育委員会  
関ヶ原ふれあいセンター  
主査

横山 久美子 様



関ヶ原町教育委員会  
関ヶ原ふれあいセンター  
主任事務補助員

清水 亜樹 様



解決  
03

導入の決め手

コストを気にせず安心してカラー印刷できる

カラーの発色が良く、写真やイラストの画質が綺麗  
さまざまに活用しており、ツール制作への利用も増加

エプソンのスマートチャージ導入後は、カラー/モノクロ共に規定枚数までは制限なしで印刷できます。

カラー印刷のコストを気にせずに済み、安心して自由に使えるようになりました。

今はカラーもモノクロも業務のほとんどをエプソンのカラーインクジェット複合機で印刷しています。

印刷スピードも速く、出力される印刷物は、カラーの発色がとても良く、写真やイラストの画質も以前より凄く綺麗になったと感じています。

市民向けのイベントの案内や告知チラシ、工事などの実施情報や報告書類、経理の伝票書類の印刷など、さまざまに活用しており、施設内で作られるツール制作への利用も大幅に増えています。

モノクロ印刷では孔版印刷機もまだ継続して使用していますが、番書は以前より遥かに少なくなりました。

他の施設でも、保育園では、子どもたちの写真なども気兼ねなくカラー印刷できるようになって大変喜ばれていると聞いています。

特に活躍の機会が多いコピーやファクスは、便利に活用しています。

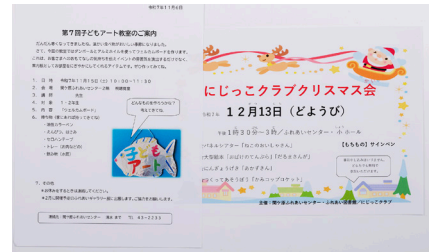
他にもたくさんの機能があるのですが、まだ設定や操作に慣れていないので、今後は使い方を学びながら、工夫して使っていきたいと思います。

メンテナンス面も、レーザー複合機と違って、紙詰まりもほとんどありません。大容量インク搭載なので、使用開始から4ヶ月でインク交換はまだ1度もありませんが、インクは無くなる前に自動的に届く※ので発注忘れが起きる心配もなく、インク交換もフロント側から手が汚れずに簡単にできるので、全く不安には感じていません。

※エプソンのリモートサービスが必要です。



事務所に PX-M8000FX 大容量給紙モデル1台を設置  
コンパクトで省スペース、さまざまな用途で活用している



施設内で開催されるイベントの案内チラシや掲示物に活用カラー写真やイラスト入りで楽しい雰囲気が見られる



施設内で開催されるイベントの案内チラシや掲示物に活用  
カラー写真入りで講演や教室内容のイメージが伝えられる

エプソンのスマートチャージ全般に関するお問い合わせ

スマートチャージセンター(スマートチャージ専用窓口)

050-3155-8655

受付時間 9:00~17:30 月~金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンのホームページ

epson.jp

